

学習状況診断票(国語) 小学校 第6学年

6年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	何のためにインタビューをしているかを正しく聞くことができる。				
		二	2	話す人が伝えようとしている理由を正しく聞くことができる。				
		三	3	話す人が伝えようとしている内容を正しく聞くことができる。				
		四	4	インタビューの仕方にどのような工夫があるかを正しく聞くことができる。				
	書くこと		五	5	お礼の気持ちが読む人に伝わるように、感想を入れ、決められた字数で手紙を書くことができる。			
読むこと	二	一	6	筆者が伝えようとしている内容を正しく読むことができる。				
		二	7	考えの理由となっている事がらを正しくとらえながら読むことができる。				
		三	8	わかりやすく伝えるための筆者の述べ方の工夫を正しく読むことができる。				
		四	9 10	筆者が伝えようとしている内容を正しく読むことができる。				
		五	11	目的に応じて、必要な図書資料を選ぶことができる。				
書くこと	三		12	考えと理由を区別し、読む人によくわかるように文章全体の組み立てを考えながら、決められた字数で書くことができる。				
言語事項	四	(1)	13	6年生までに習った漢字を正しく読むことができる。				
		(2)	14					
		(3)	15					
		(4)	16					
		(5)	17					
	五	(1)	18	5年生までに習った漢字を正しく書くことができる。				
		(2)	19					
		(3)	20					
		(4)	21					
		(5)	22					
	六	(1)	23	漢字の意味を考えて、正しい熟語を作ることができる。				
		(2)	24					
					/ 4	/ 2	/ 6	/ 12

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに○を付けましょう。

聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> 「どのような考えが、どのような理由で話されているかを考えながら聞く」「自分の考えと、どこが同じで、どこが違うかに注意して聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、授業中の先生や友だちの話を聞いたりするときや毎日の生活にも生かしましょう。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、どのような考えを書くのかをはっきりさせましょう。その上で、自分の考えをわかりやすく伝えるために、自分の意見とその理由を別々の文で書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読む人の気持ちになって読み返し、伝わりにくいところを書き直すことも大切です。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明文を読むときには、まず、筆者が何を伝えようとしているかを明らかにしましょう。そして、各段落のつながりに注意しながら、考えを伝えるためにどのような事実を用いているか、それぞれの説明は何について書かれているかなどを考えながら読むようにしましょう。 国語の授業で、自分の考えを進んで発表したり、友だちの考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間だけでなく、他の教科の授業や毎日の生活の中で、読み方がわからない場合は確かめたり、学習した漢字を使って書いたりするように心がけることが大切です。 漢字を練習する時に、その漢字が使われる熟語にどんなものがあるかにも注意しましょう。